

予算特別委員会の審査

平成21年度の補正予算及び平成22年度の当初予算を審査し、全議案とも原案のとおり可決されました。新年度一般会計では可決後に、2つの附帯決議案が提出され、旧渋川公民館解体に関する決議が賛成多数で可決されました。主な質疑の内容を掲載します。

補正予算

質疑 国の第2次補正予算

の「きめ細やかな臨時交付金事業」約3億5千万円は、景気対策のためだが、いっどのような発注をするのか。なるべく早期の発注を要望する。

答弁 基本的には新年度に適時発注していきます。入札等についても通常工事同様です。

質疑 年度内工事の完成が遅れる原因には、市側の責任もあるのではないかと。

工期が遅れが出ないよう、業者と連絡を密に行うべきだ。

答弁 工事の工程には無理がないようにしています。

質疑 公共下水道をはじめ

とした、各戸の汚水処理の整備状況は。

答弁 下水道など4事業で汚水人口普及率は76%程度で、県内12市中4位です。

新年度予算

歳入関係

質疑 経済状況の変化で給与所得が減っている。市税の予算額で、徴収できるのか。

答弁 経済不況に伴う所得減については、昨年度大幅な見直しを図りました。勤労統計などの動向に注視して、歳入確保に努めます。

質疑 本年も市債を発行するが、後年度の負担を計画的に判断するため、市債の

残高、償還がわかる指標が必要ではないか。

答弁 償還については、高利率の償還は済んでいます。指標については、検討します。

質疑 伊香保温泉白銀の湯使用料では、伊香保温泉再生事業に伴い、温泉を必要とする全軒に配湯できたのか。

答弁 本年度の湯管の工事後、全軒に配湯できます。

議会費

質疑 今後、インターネット中継やホームページ上で議会の中継動画を見られるように要望する。

答弁 今後、議会と相談して検討していきます。

総務費

質疑 市民ふれあい議会は必要なのか。

答弁 市民との公聴との立場として必要です。

質疑 地上デジタル放送対策事業は、市内難視聴地区の解消になるのか。

答弁 北橘町真壁に行幸田中継局を開設するなど、市内全域の難視聴区域の解消

を図ります。

質疑 赤城地区の投票所が20カ所から11カ所に減少するが、住民にどう説明するのか。

答弁 地元自治会に説明の機会を設けます。

質疑 安全安心なまちづくりを実現するには、その推進者にだれをあてるのか。

答弁 自治会を中心的存在としてNPO団体やボランティア団体等に、間接的にかかわっていただきたいと考えています。

質疑 タウンバス事業では運行時に音楽を流すことになっていて、なかなか事業が進まないのはなぜか。

答弁 現在、音源を作成中です。早急に事業完了を目指します。

民生費

質疑 スプリンクラー整備補助事業とは。

答弁 市内のグループホーム11施設のうち、平成21年度で8施設のスプリンクラーの設置が済みしました。残る3施設について新年度で実施します。

質疑 女性特有のがん検診の受診率が低い。受診時間等の改善が必要だが。

答弁 渋川総合病院などと連携をとり検討していきます。

質疑 国の政策で子ども手当が6月から支給される予定だが、事務処理は大丈夫か。

答弁 該当世帯に通知を郵送し、来庁していただく予定です。国の指導はまだありませんが、6月の児童手当の支給に合わせるようにします。

質疑 老人クラブ助成事業の補助金は同額だが、増額する予定はないか。また、施設利用料の免減は。

答弁 所属人数は減少していますが、補助金は現状維持としました。施設利用料は、ほとんど減免していますが、一部受益者に負担いただいています。

衛生費

質疑 蛍光灯（管）の回収は。

答弁 今年の秋から、回収を始める予定です。本庁、

各会計予算

項目	今年度予算	前年度予算	
一般会計	331億7,700万円	317億6,300万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	95億6,385万円	89億4,921万円
	国民健康保険（診療施設勘定）	1億3,266万円	3億6,817万円
	老人保健	357万円	611万円
	後期高齢者医療	8億2,479万円	8億3,283万円
	介護保険	59億9,733万円	55億8,771万円
	特別養護老人ホーム事業	3,995万円	4,114万円
	農産物直売事業	4,664万円	4,151万円
	伊香保温泉観光施設事業	1億76万円	1億75万円
	小野上温泉事業	2,036万円	1,911万円
	交流促進センター事業	1,500万円	2億1,923万円
	白井温泉こもちの湯事業	3,852万円	3,815万円
	たちばなの郷城山事業	3,017万円	1億2,45万円
	下水道事業	21億9,27万円	21億2,649万円
	農業集落排水事業	16億2,098万円	21億7,380万円
	個別排水処理事業	2,895万円	3,262万円
簡易水道事業	3億8,36万円	2億7,495万円	
事業会計	水道事業会計		
	収益的支出	16億1,536万円	16億3,525万円
	資本的支出	10億1,111万円	14億3,154万円
	病院事業会計		
	収益的支出	18億9,454万円	16億6,908万円
資本的支出	7,101万円	8億2,494万円	

支所など18カ所で回収予定
です。

農林水産業費

質疑 駆除対象に猿が加わったが、有害鳥獣は増えているのか。

答弁 猿の被害は有馬、小野上地区で発生しました。被害は、毎年増加しているのが現状です。

質疑 竹林整備事業の内容

は。

答弁 市内全域を対象に、主に北橋地区の竹林を整備し、竹炭などの活用を研究します。

商工費

質疑 デステイネーションキャンペーンの内容は。

答弁 地域とJR6社の連携による観光キャンペーンが平成23年7～8月に群馬

県で開催されます。22年は、プレキャンペーンとして、

全国宣伝販売促進会議に渋川市のブースを設置します。

土木費

質疑 橋りょう整備事業の、今後の予定は。

答弁 平成21年度予備設計を実施しました。今後5月に地元説明会を実施して、実施設計やボーリング調査

を行っていきます。

教育費

質疑 旧渋川公民館記録保存事業の内容は。

答弁 映像、写真、レリーフ、バルコニーの被弾痕などの切り取り保存です。

質疑 学校給食では、PTAの試食会を増やすなど、給食への安心感の構築が必要だが、今後の対応は。

答弁 対象者や回数など検討していきます。

質疑 ブックスタート事業の内容は。

答弁 新生児の6カ月健診時に保護者へメッセージを伝えながら絵本を手渡す新規の事業です。

消防費

質疑 防火水槽設置事業の具体的設置箇所は。

答弁 40トンの防火水槽を渋川地区2基、伊香保地区1基、子持地区1基、赤城地区1基の合計5基の設置を考えています。

国保関係

質疑 赤城南北診療所の跡地は子どもたちのために利用してほしい。

往診はきめ細やかな対応を要望する。

答弁 市有地の活用として、検討します。

介護関係

質疑 介護予防事業の内容は。

答弁 筋肉トレーニング、口腔ケア、認知症予防などです。

水道関係

質疑 平成23年の料金改定第二弾に向け、経営の健全化は進んでいるのか。

答弁 料金改定に頼ることのないように改善していきます。

病院関係

質疑 リニアック高性能放射線治療装置の一日の治療者数は。

答弁 18人を目標としています。

22年度予算に附帯決議案

新年度予算に対し、議員から2件の附帯決議案が提出され、「学校給食調理場再編整備」関連（案）については否決、「旧渋川公民館」関連（案）については可決されました。